

5種混合ワクチンの予防接種について

令和6年3月

令和6年4月から、5種混合ワクチンが定期接種となります。

5種混合ワクチンは、従来の4種（百日せき・ジフテリア・破傷風・ポリオ）混合ワクチンとヒブワクチンがひとつになったワクチンで、百日せき、ジフテリア、破傷風、ポリオ（急性灰白髄炎）及びインフルエンザ菌b型による感染症を予防します。

各病気に対する説明やワクチン接種に関する注意事項、副反応が起こった場合の対応については、お手持ちの予防接種説明書「予防接種と子どもの健康」をご確認ください。

<対象者>

生後2か月から生後90か月に至るまでの間にある人

原則として、4種混合ワクチン・ヒブワクチンのいずれも未接種の方

<接種スケジュールについて>

回数：合計4回（初回免疫：3回 追加免疫：1回）

間隔：初回接種 20日以上の期間をおいて3回接種する

追加接種 初回接種終了後、6か月以上の間隔をおいて1回接種する

接種方法：皮下接種または筋肉内接種

原則として、最後まで（必要回数）同じワクチンを接種します。

4種混合ワクチン及びヒブワクチンを1回でも接種している場合は、引き続き4種混合ワクチン及びヒブワクチンを決められた回数接種してください。

1. 副反応

主な副反応は、接種部位の紅斑（赤くなる）、硬結（しこり）、腫脹（はれ）など、接種部位以外の副反応として、発熱、気分変化、発疹、食欲減退、嘔吐などが報告されています。また、重大な副反応ではショック、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、脳症、けいれんなどが報告されています。

2. 予防接種を受けることができない人

- ・明らかに発熱のある方（37.5℃以上）
 - ・重い急性疾患にかかっている方
 - ・本剤の成分に対して重度の過敏症（※1）の既往症のある方
 - ・その他、医師に予防接種を受けない方がよいといわれた方
- （※1）アナフィラキシーや、全身の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状

3. 接種を受けた後の注意点

接種当日は過激な運動は避け、接種部位を清潔に保ち、また接種後の健康観察を行い、局所の異常反応や体調の変化、さらに高熱、けいれん等の異常な症状を呈した場合には、速やかに医師の診察を受けてください。

4. 予防接種健康被害救済制度

定期予防接種によって引き起こされた副反応により、生活に支障が出るような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく給付を受けることができます。

<問い合わせ>

伊賀市役所 健康推進課

電話：0595-22-9653